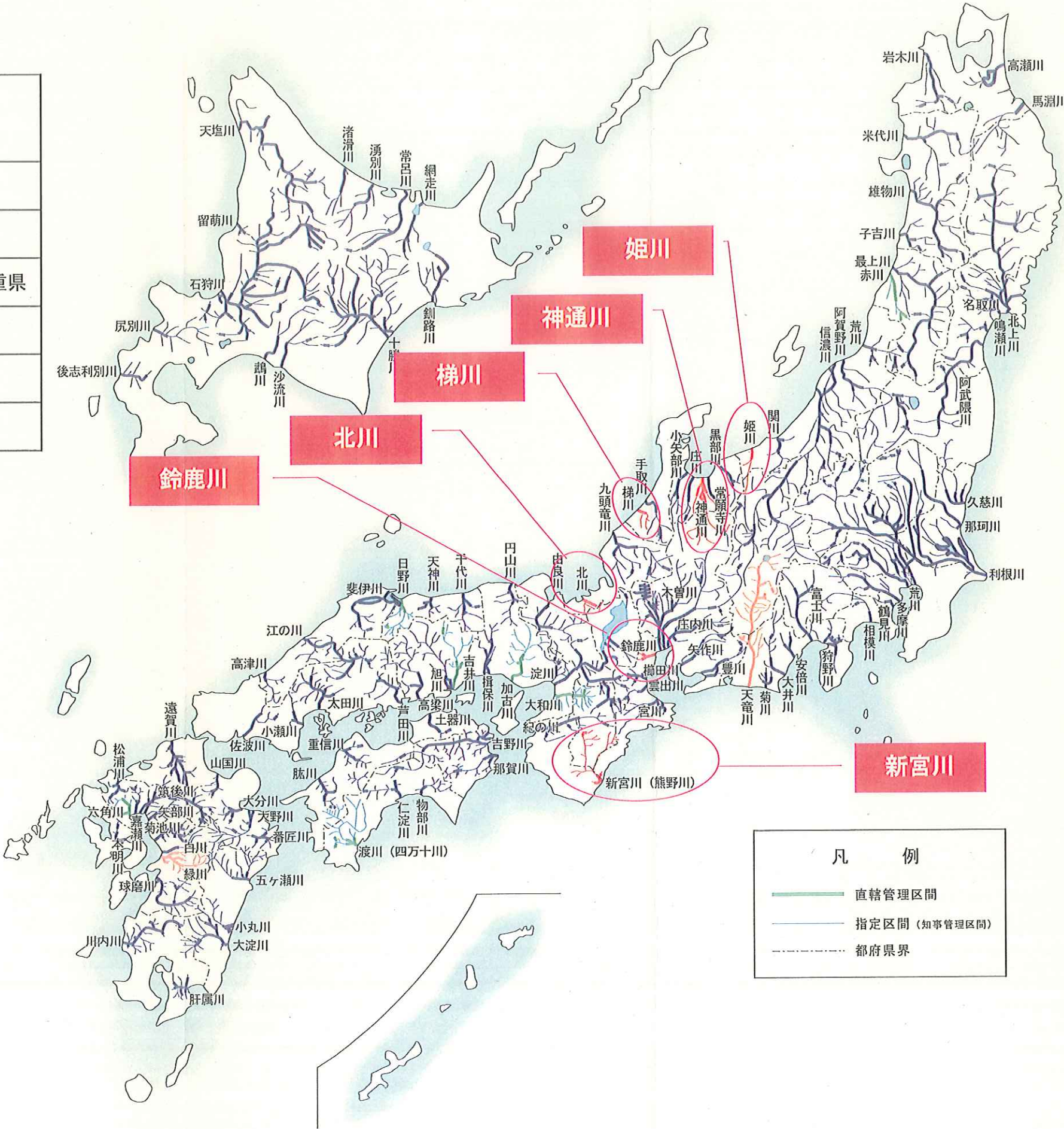


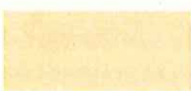
各水系の河川整備基本方針（案）の概要

資料 1

本日の河川分科会での審議水系

	水系名	流域面積 (km ²)	幹川流路 延長 (km)	流域内 人口 (千人)	想定氾濫 区域内 人口 (千人)	流域の主な県
第35回	鈴鹿川	323	38	114	78	三重県
	梯川	271	42	112	53	石川県
	新宮川	2,360	183	54	28	和歌山県、奈良県、三重県
第36回	北川	211	30	24	21	福井県、滋賀県
	神通川	2,720	120	377	223	富山県、岐阜県
	姫川	722	60	18	7	新潟県、長野県

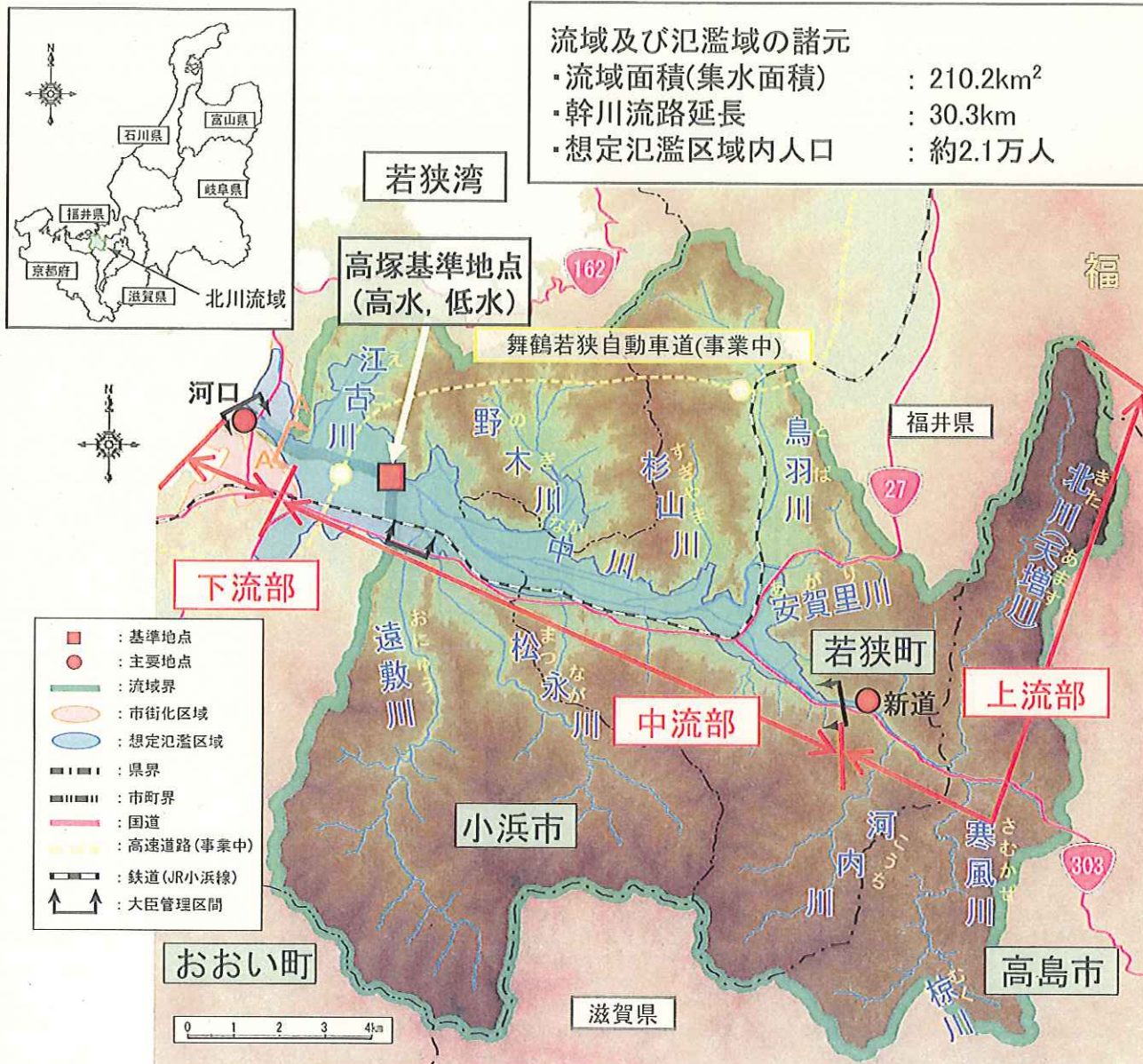


	本日の河川分科会での審議水系	6水系
	基本方針検討小委員会で審議が終了している水系	2水系
	河川整備基本方針策定済み水系(手続き中を含む)	94水系

北川水系河川整備基本方針(案)の概要

流域及び河川の概要

- 流域の大半を山地が占め、下流部から上流部の河床勾配は1/790～1/30程度と急勾配
- 年平均降水量は約2,400mmと全国平均の約1.4倍で、冬期と夏期及び台風期に多い
- 中流部から下流部で築堤区間となっており、急流部を一気に流下した洪水がひとたび小浜市街地で氾濫すると甚大な被害が発生

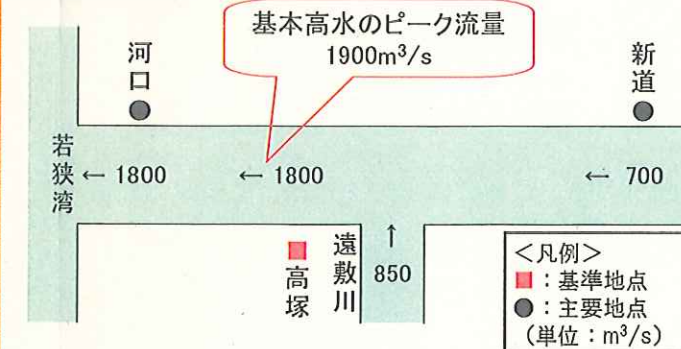


災害の発生防止又は軽減

- 工事実施基本計画策定後に計画を変更するような洪水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、時間雨量データによる検討、既往洪水からの検討、1/100確率規模モデル降雨波形による検討等により総合的に検討し、河川整備基本方針においても既定計画と同様に基本高水のピーク流量を基準地点高塚で1,900m³/sと設定

- 基本高水流量と計画高水流量の差分については、建設中の洪水調節施設で対応
- 治水安全度を向上させるため、自然環境や風土、歴史等に配慮しながら、堤防の拡築、河道掘削、橋梁や堰の改築等により河積を増大させるとともに、護岸を整備
- 堤防の質的安全性が低い箇所においては、質的強化対策を実施
- 現存する霞堤は、沿川の状況を踏まえ、関係機関や地域住民の理解のもと、適切な維持、保全に努める

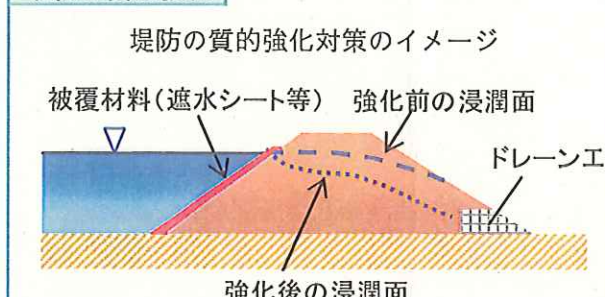
【流量配分図】



堰等の改築



堤防の質的強化



霞堤の保全



河川環境の整備と保全

- 上流部では、魚類等の生育場となる瀬・淵の保全に努める
- 中流部及び遠敷川では、アカザやスナヤツメが生息するきれいな瀬や、カワデシヤ、ミクリなどが生育する湿性環境について、河川整備で出来るだけ配慮し、保全・回復に努める
- 下流部では、シオクグ・ヨシ等の生育する塩性湿地環境やシラウオ・シロウオの産卵場について、河川整備で出来るだけ配慮し、保全・回復に努める



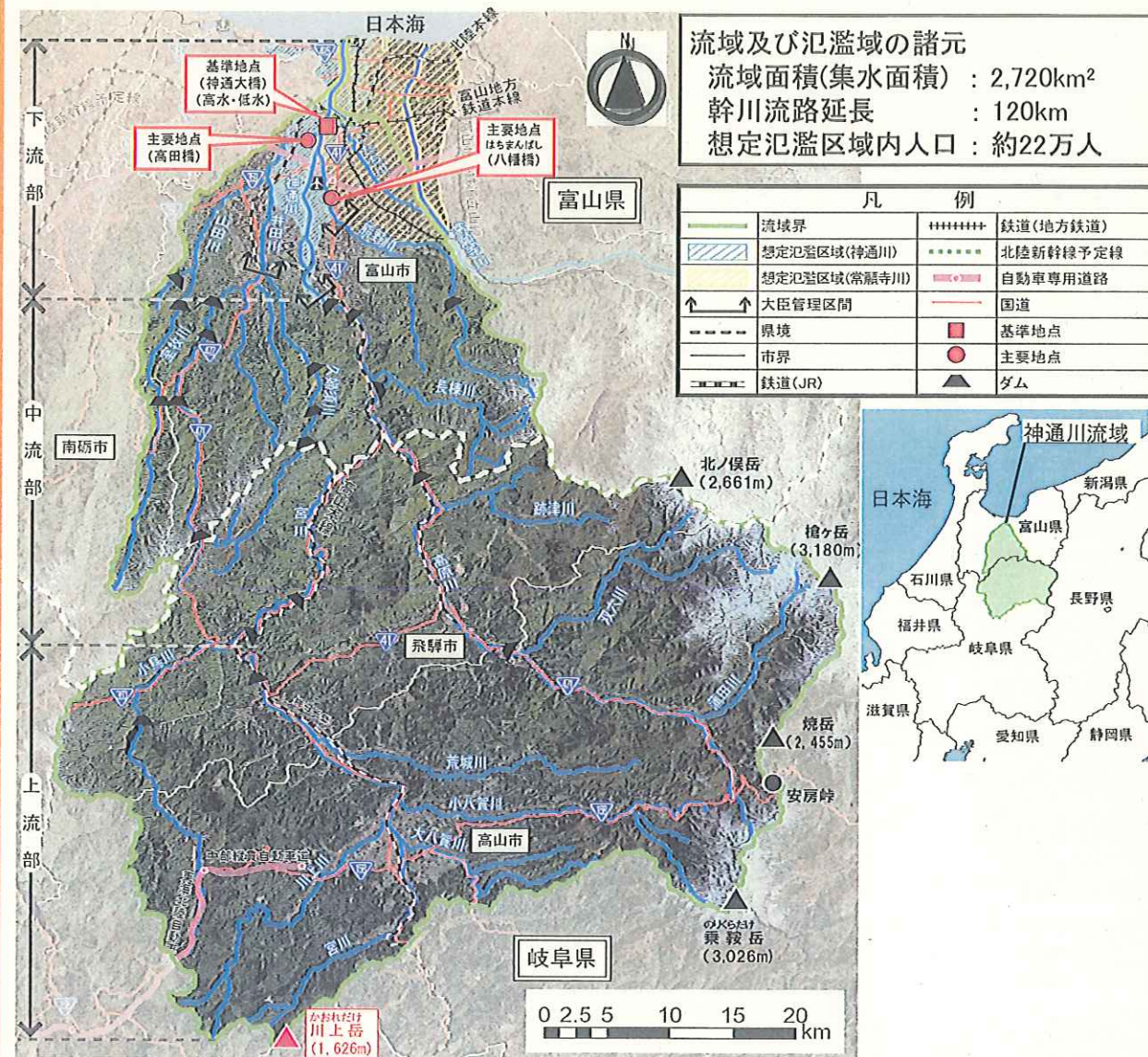
河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める
- 高塚地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量については4月から5月までは概ね2.1m³/s、6月から3月までは概ね1.1m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資するものとする

神通川水系河川整備基本方針(案)の概要

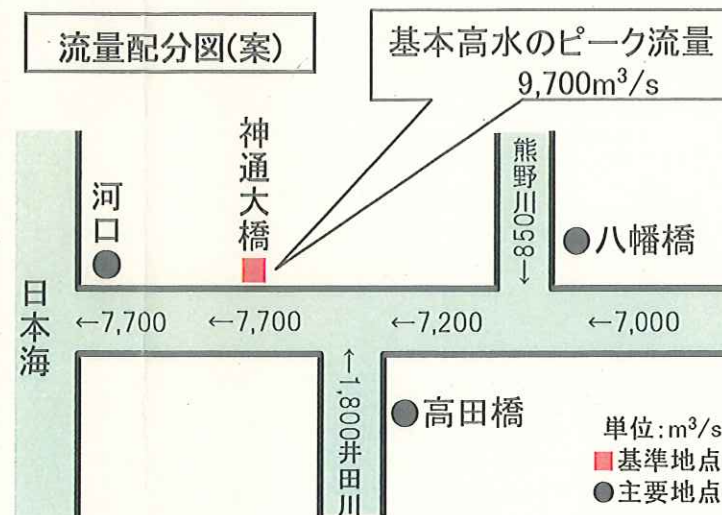
流域及び河川の概要

- 神通川は上流の岐阜県内で宮川と呼ばれ、富山県と岐阜県の県境で高原川を合わせて神通川となり、富山市街地を貫流して日本海に注ぐ
- 上流部から中流部では、河床勾配が約1/20から1/250程度、下流部では約1/250からほぼ水平と河口部は緩やかなものの我が国屈指の急流河川
- 上流部は高山市、下流部の低平地は常願寺川との複合扇状地となっており、富山県を中心市街地を形成しているため、ひとたび氾濫すると甚大な被害が発生



災害の発生の防止又は軽減

- 工事実施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、既往洪水による検討等により総合的に検討し、河川整備基本方針においても既定計画と同様に基本高水のピーク流量を基準地点神通大橋で9,700m³/sと設定



- 基本高水流量と計画高水流量の差分については、既設洪水調節施設の有効活用及び新たな高水調節施設で対応
- 洪水の流下断面が不足している区間において、築堤(嵩上げ、拡幅)及び河道掘削により河積の確保に努め、治水安全度の向上を図る
- 急流河川特有の強大なエネルギーにより引き起こされる侵食や洗掘等による洪水氾濫を防ぐため、護岸、水制等を実施
- 氾濫特性上影響を与える常願寺川で計画規模を上回る洪水及び整備途上段階能力以上の出水が発生した場合の被害軽減対策を実施

久婦須川ダム

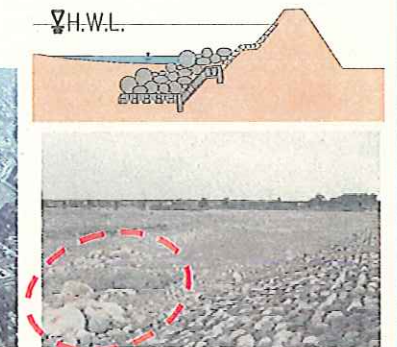


丹生川ダム(建設中)
(イメージ図)

既設洪水調節施設



河積の確保



巨礫による根固めイメージ

河岸侵食対策

河川環境の整備と保全

- 上流部では、アジメドジョウが生息するワンド等、産卵場となる砂礫床の保全に努める
- 中流部では、良好な渓谷環境が形成されている河道特性の保全に努める。また、アユ、オイカワ等が生息している早瀬、平瀬の保全に努める
- 下流部では、アユ、サケ、サクラマス等の回遊性魚類の産卵場となる早瀬・平瀬、カワラハハコなどが生育している礫床の保全・改善に努める。また、サクラマスの生息上重要となる淵の保全・再生に努める。抽水植物が生育するワンドなど保全に努める



伏流水のあるワンドや瀬

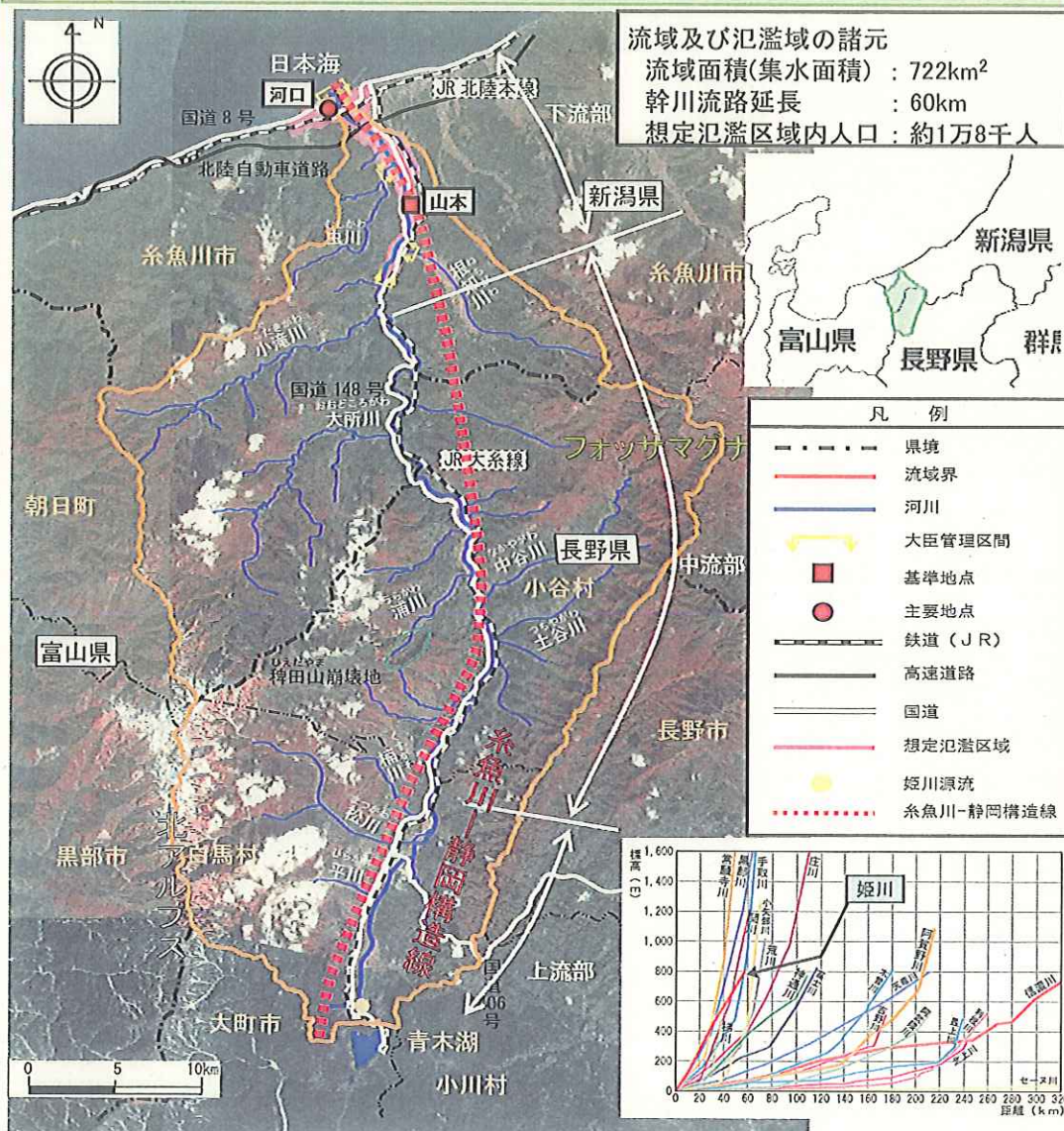
河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める
- 神通大橋地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、通年で概ね41m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資するものとする

姫川水系河川整備基本方針(案)の概要

流域及び河川の概要

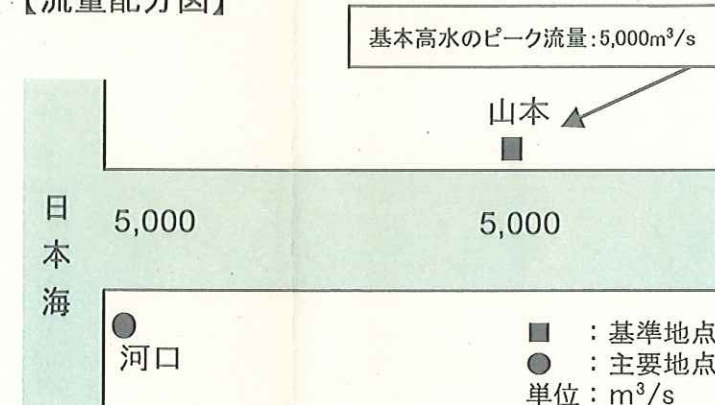
- 流域の大半を急峻な山地が占め、河床勾配は1/60～1/130程度と国内屈指の急流河川
- 下流部の浸水想定区域は糸魚川市中心部となっており、洪水が一度氾濫すると甚大な被害が発生
- 大規模な断層帯である糸魚川-静岡構造線沿いの脆弱な地質地盤を流域としているため、洪水時には上中流部から大量の土砂が本支川に流出し、土砂災害が頻発



災害の発生の防止又は軽減

- 工事实施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、時間雨量データによる確率からの検討、既往洪水による検討、1/100確率規模モデル降雨波形による検討等により総合的に検討して、基本高水のピーク流量を基準地点山本で5,000m³/sと設定

【流量配分図】



- 砂防設備の整備による土砂流出の抑制・調節や堤防の新設・拡築、河道掘削等により河積を増大させるとともに、水衝部には護岸等を整備
- 河床上昇に伴う氾濫や河川内構造物等の被害等が発生しているため、河床変動幅を抑え、洪水が安全に流下できるよう土砂管理と一体的な河川管理を図る

砂防えん堤の整備(浦川)



来馬河原遊砂地の整備(本川)



河道掘削と根継護岸の整備状況



河川環境の整備と保全

- 上流部ではカワガラス、イワナ等の良好な生息・繁殖環境である渓流環境の保全に努める
- 中流部ではカジカガエル、サンショウウオ類を始めとする多様な動植物が生息・生育・繁殖する河岸や河畔林等の保全に努める
- 下流部ではアユ、サケ等の遡上環境や動植物の生息・生育・繁殖環境について治水と調和を図りつつ、保全に努める

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 広域かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める
- 山本地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は概ね2m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資するものとする

